

別紙②

運営推進会議開催報告書

会議名 大野和光園なかよしデイサービス運営推進会議
施設名 大野和光園なかよしデイサービス
サービスの種類 認知症対応型通所介護
会議開催場所 大野和光園 会議室
開催日時 令和3年7月21日(水) 午前10:30～11:30

<運営推進会議出席者>

構成区分	氏名	備考
利用者の家族	廣瀬 えつ子 様	
利用者の家族	安川 亜希 様	
地域住民の代表者(上篠座二区区长)	清水 勇治 様	
地域住民の代表者(上篠座一区区长)	石田 秀徳 様	
大野市健康長寿課	五十川 美香子 様	
さくら在宅介護支援事業所(介護支援専門員)	三浦 明子 様	

<施設職員出席者>

職種	氏名	備考
理事長	砂子 三郎	
常務理事	山村 正人	
統括施設長	山内 英弘	
特任職員	阿部 静枝	
チームリーダー	片岡 昌克	

<議事録>

- 1 大野和光園 理事長挨拶
- 2 会議出席者の紹介
 - ・運営推進会議委員
 - ・大野和光園職員出席者
- 3 利用者実績と今後の予測
- 4 活動状況報告について
 - ・令和2年度下期活動状況
 - ・令和3年度上期活動状況
 - ・認知症のレベルと判断基準

- ・認知症の生活自立度別利用者状況
- ・空き状況
- ・居宅介護支援事業所別利用登録者
- ・延べ人数平均介護度
- ・利用者の推移
- ・収益と利用者数の推移
- ・人件費比率の推移
- ・事故(介護・物損)傷病状況報告
- ・行事活動状況
- ・職員研修等受講報告
- ・ご家族の皆様への情報発信

5 なかよしデイサービス運営日(月～土曜日)の休止と、日曜日のみの運営について

6 質疑応答・意見交換

◎なかよしデイサービスとデイサービスを合同で行うことで、相乗効果がでている。

デイサービスは日曜日営業していない為、なかよしデイサービスの日曜日営業は継続していく。

◎旧渡辺医院を購入し、福利厚生事業を展開している。中国技能実習生、都会のシングルマザーが住めるように宿舎としても改修を行っている。

◎認知症になる60代 70代の方が増えている。認知症の方も増え、デイサービスとなかよしデイサービスの差別化は難しくなっているように思う。

◎和光園のなかよしデイでは職員がデイ・訪問入浴を兼務している。職員がどの利用者にも対応できるようになっている。また、研修も行っていることから、認知症の方の対応もできている。

◎奥越明成高校の福祉科を希望する生徒も減っており、人材不足を避ける為に ICT 化や外国人雇い入れを行い、人材不足を避けていきたい。

Q コロナ対策や熱中症等大変ですが、職員のケアとして、ロボットスーツ等は導入するのか。

◎ロボットスーツ試したが、現場では使いづらい。今は介護職の事務作業量も多く、事務作業を減らす為に、IT 化を進めている。新しい介護ソフトをいれたことで業務削減でき今は悪戦苦闘しているが、慣れれば職員の負担軽減ができる。

Q 利用者減少はどういった理由か。

◎一日当たりの利用料が、一般のデイと比較すると高いので利用率が伸びないと思われます。また、金額が高いと利用回数が増やせなくなります。区分支給限度額が要介護状態の方には決まっており、利用回数を増やすと負担限度額がオーバーし、実費になってしまう。そうすると、利用回数

を増やすことが困難になります。認知症の方の介護をされているご家族の方は 1 回でも利用回数が増えることを望んでおられ、一般のデイの方を選択されます。人員配置も手厚く、一人の利用でも職員を 3 名配置しなければならないということも単価が高い要因です。

Q 2045 年までは高齢者が増え続ける予測であれば、利用者を増やして続けれるのではないか。

◎現在は休止という体制で日曜日のみとする。経費だけの変更ではなく、行政の変更や事情が変われば、体制も変更できる。その時には平日の運営も再開する方向である。

Q 今年の大雪で影響はなかったのか。

◎2～3 日の営業停止はあったが大きく影響はなかった。

7 今後の予定及び次回会議について

次回:令和 4 年1月 19 日(水) 10:30～ 開催予定